

入場無料  
申込不要

2014年5月24日(土)  
13:30~18:05

関西大学千里山キャンパス  
尚文館1階マルチメディアAV大教室

2014年度



東西学術研究所 経済・政治研究所 法学研究所

# 3研究所 合同シンポジウム

## 資源としての研究情報

### 記録・資料・データを活かす仕組みについて

研究活動のために必要となる様々な記録や資料等の学術情報を保管すること、そして、研究成果を産み出すためにそれらの利用を促すことは、大学の使命の1つである。特に、所属する組織や国境をも横断して研究者間のネットワークが広がりつつある現在では、大学の枠を超えて学術情報の共有と利用を進めていくための仕組みづくりが必要となっている。

このシンポジウムでは、大学あるいは他の研究機関が、法律関係文書や歴史史料、統計データといった様々な種類の学術情報を今後どのように取り扱っていくべきか、そして学術情報の有効な利用を促すために、それらの間でどのような協力関係を築いていくべきかについて議論する。各分野の専門家によって提供される多面的な論点を手がかりとして、学術的貢献のみならず社会的貢献の面でも、大学が今後果たしていくべき役割を探っていく。

Program

司会 岡本 哲和(法学研究所長、政策創造学部教授)

13:30~13:40 開会挨拶

楠見 晴重(関西大学学長)

#### ● 基調講演

13:40~14:40

### 御厨 貴

(放送大学教授、東京大学名誉教授・先端科学技術研究センター客員教授)

「オーラル・ヒストリーの広がりと応用」



#### ● 講演

14:50~15:30

サクダー・タニツクン(タイ・チュラロンコン大学法学部教授)  
「研究からイノベーションへ:チュラロンコン大学のケース」

15:30~16:10

黄 晨(浙江大学図書館副館長)  
「中国デジタル資料プロジェクト(CADAL)の現状と将来」

16:10~16:50

鶴飼 康東(関西大学名誉教授・政策創造学部特別任用教授)  
「関西大学経済心理学データアーカイブの特徴と研究成果」

17:00~18:00

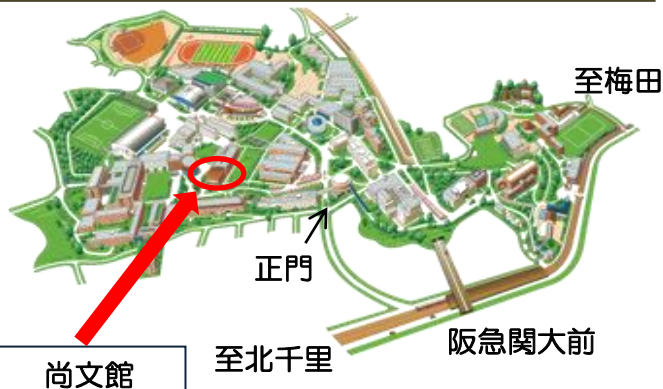
総合討論

18:00~18:05

閉会挨拶

講演言語:英語・中国語・日本語  
※通訳あり

#### ACCESS



阪急千里線にて関大前駅で下車

#### お問い合わせ先

関西大学 学長室 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-0329 FAX 06-6339-7721

E-mail kenkyusho@ml.kandai.jp